



希望・期待・決意を胸に～入学式・対面式～

4月9日(水)、1年生133名は桜が咲き誇る中、ピリッとした空気があふれる鳥取大学附属中学校の武道館で、希望・期待・決意に満ち溢れた表情で入学式にのぞんでいました。話を真剣に聞く姿などから今まで多くのことを経験し、身に付けてきた様子がかげえました。

これから始まる中学校での生活は、小学校までの生活とは大きく変わる部分もあります。中学3年生の冬には高校受験があります。自分で進路選択をしていかなければなりません。そのためには、将来どのような職業に就きたいか、どのように生きていきたいかなど先のことを自分で考えていかないとけません。先を見据えて、今自分が何をしておかないといけないのか、何をすべきなのかを考え、行動することが求められます。勉強だけでなく、委員会・係活動、部活動、行事などに全力で取り組み、多くのことを経験し、力を伸ばしてほしいと思います。ただ、自分一人だけで頑張るのではなく、クラス・学年の仲間と助け合いながら、お互いに高めあってほしいと思います。

4月10日(木)の3限には対面式が行われ、2・3年生と出会い、附属中学校の全校生徒が初めてそろいました。1年A組の玉田賢人くんが新入生代表として全校の前であいさつをしてくださいました。自分で考えてきた言葉をしっかりと覚え、堂々と発表する姿に感心しました。生徒会執行部の先輩方が生徒会について、楽しい雰囲気でもわかりやすく紹介をしてくださいました。1年生のみんなは、先輩方の話す姿にくぎ付けになっており、これからの生徒会活動を楽しみにしていました。

令和七年四月、私たち新入生は鳥取大学附属中学校の1年生になりました。本日はこのような立派な対面式を行っていただきありがとうございます。

私たちは、これから始まる中学校生活に対する期待と不安を胸に抱きながら昨日の入学式を迎えました。小学校と違い、中学校では、勉強する科目が増えたり、授業時間が長くなったり、定期テストがあつたりと、今までとは違う環境になり不安を感じています。この不安を楽しみながら一步一步確実に中学生として頑張っていけるように努力してまいります。また、新しい仲間との出会いや学校行事など、どんな中学校生活が待っているのだろうと期待や楽しみも多く感じています。学校行事や部活動に一生懸命取り組んでいる先輩方の良いところをたくさん取り入れて、一生の思い出に残る中学校生活を送りたいと思っています。

まだ、私たち新入生は右も左もわからない状況です。どうか、先生方、先輩方、あたたかい目で見守っていただき、ご指導くださいますようお願い申し上げます。

令和七年四月十日

新入生代表

玉田賢人

玉田賢人くん新入生代表あいさつ(原文)

お願い

附属中学校では、兵庫県北部・鳥取県中部の広い範囲から通学しています。JRやバスを利用する生徒もたくさんいます。JRやバス会社、乗客の方から、附中生の乗車マナー・ルールについて、毎年たくさんの厳しいご意見をいただいております。ぜひ、ご家庭でも登下校のマナー・ルールなどについてお子さんと一緒に考えていただけたらと思います。